

# ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年4月16日

仙台・岡田児童館

## 「二人で1つの絵をつくる」

新しく入学した一年生も混じって、なぜか参加メンバー全員女の子という、なんだか不思議な空間となった遊戯室。先生からは「男の子も申し込んでいた子いたんだけど、女の子パワーに圧倒されたかな」とのお言葉でした。

今回は、ふたりでひとつのチームになり、じゃんけんをしながら絵を描き進めるといって、ちょっとゲーム感覚の作品づくりです。

まず最初、じゃんけんに勝った人から画用紙に線を引き、それを繰り返したあと、そこにできた模様の間を、順番に色で埋めてゆくという方法です。友だち、姉妹、先生と子どもと、チームの組み合わせはいろいろ。そこでかわされる会話から、二人だけの違うルールもできてきて作品づくりは進んでゆきます。

線の引き方も、繊細派から、ダイナミックぐちゃぐちゃ派まで多種多様。マジックやクレヨンで色を塗るだけでなく、折り紙をビニールテープで立体的に貼付けたり、シールの折り紙を線のラインにそって丁寧にあわせ切り抜きはってゆく、細かい技をみせる子もいます。

出来上がった作品は、チームのふたりで相談し、ハサミで切り分ける。そこまでが、ワークショップの内容。ということで、その段になると、大胆に真っ二つに切るチームもいれば、ジグソーパズルのように切り刻みそれを分け合うチームもいて、本当に考え方はそれぞれです。

作品は、見事なほどに、どれも素敵な明るい色合いのものになりましたね。

今回入って来られなかった男の子も、ぜひ次回は参加お待ちしております。

